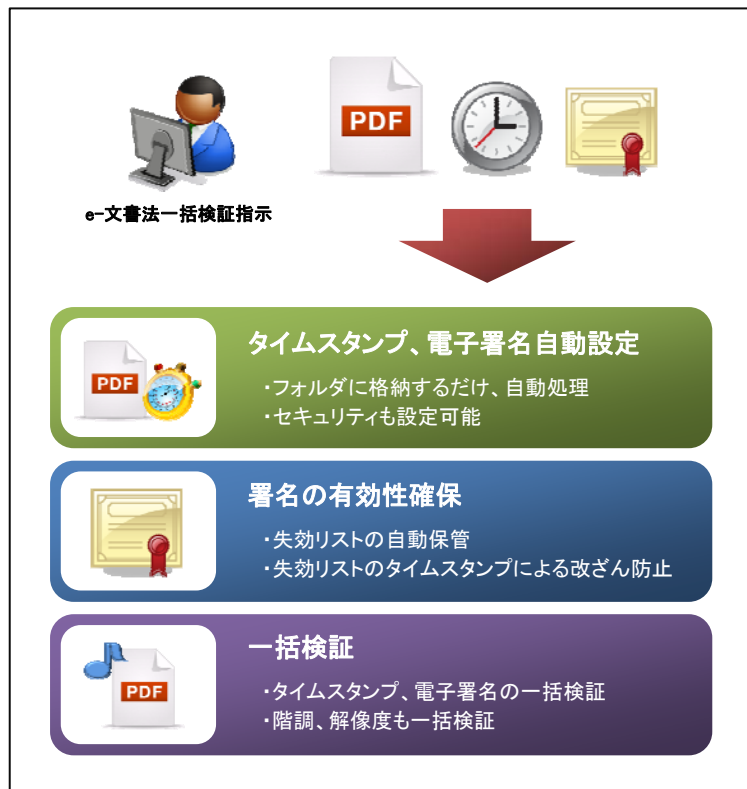


e-文書法対応 一括検証ツール v2

国税 e-文書法用 一括検証ツール



■ TECHNICAL DATA 2012/4

e-文書法は2004年11月に制定、翌年4月に施行された「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」(平成16年法律第149号)と「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」(平成16年法律第150号)の総称です。

この法律により、元から電子データとして作成された文書だけでなく、紙として保存された文書をスキャンして画像ファイルとしたものに対しても、一定の要件を満たせば正規の文書として認められるようになりました。

特に国税関係は、e-文書法が制定された当初から関連法律で、法的要件が明示されており、e-文書法の指標となっています。

ハイパーギアの「e-文書法 一括検証ツール v2」は国税や医療要件の一括検証用に開発したツールです。

e-文書法は2004年11月に制定、翌年4月に施行された法律総称です。この法律により、財務・税務関係の帳票類や取締役会議事録など、商法(及びその関連法令)や税法で保管が義務づけられている文書について、紙文書だけでなく電子化された文書ファイルでの保存が認められるようになりました。

また、元から電子データとして作成された文書だけでなく、紙として保存された文書をスキャンして画像ファイルとしたものに対しても、一定の要件を満たせば正規の文書として認められるようになりました。

特に国税関係は、平成10年5月28日に通達された、電子帳簿保存法取扱通達の制定について「電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律(平成10年法律第25号)」における、法第4条((国税関係帳簿書類の電磁的記録による保存等))関係において、規定されています。

■ 電子署名、タイムスタンプ付与

スキャンされた画像データ(TIFF, JPEG, PDF)について電子署名とタイムスタンプを自動一括付与できます。電子署名の契約、タイムスタンプの契約を行うだけで、システム開発なしで、契約したその日から利用できます。

出力ファイルはPDFとなり、タイムスタンプ、電子署名だけでなく、セキュリティ設定も自動で行うことが可能です。

■ 一括検証

一括検証ツールは、4-14「検索機能の意義」および4-16「範囲を指定して条件を設定することの意義」より、検索された保存文書について、一括で、文書の真正性を確認するツールです。

検証できる機能

- ・電子署名の付与有無、有効性の確認
- ・タイムスタンプの付与有無、有効性と改ざんの確認

- ・画像データの階調 フルカラーで入力されている確認
- ・画像データの解像度 200dpi以上でスキャンされている確認

一括検証ツールはコマンド対応で、システムに組み込むことが可能です。また、検証結果は、CSVデータとして出力できるため、会計システムや医療文書管理システムに組み込むことが簡単にできます。

■ 署名の有効性確保

法第4条((国税関係帳簿書類の電磁的記録による保存等))関係により、入力を行う者の電子署名または、その者を直接監督する者の電子署名が必要になります。さらに、4-25、4-26において、規定期間の電子署名の有効性を保持することが必要になります。

電子署名の有効期限は、通常2年から3年となります。また、入力者の部門移動や退職等もあり、国税の規定した保存期間中の電子署名有効性は、そのままでは保証できません。

一括検証ツールでは、電子証明書の失効情報を毎日保管します。検証においては、PDFが生成された翌日の失効リストを検証し、対象電子署名者が失効されていないことを確認します。

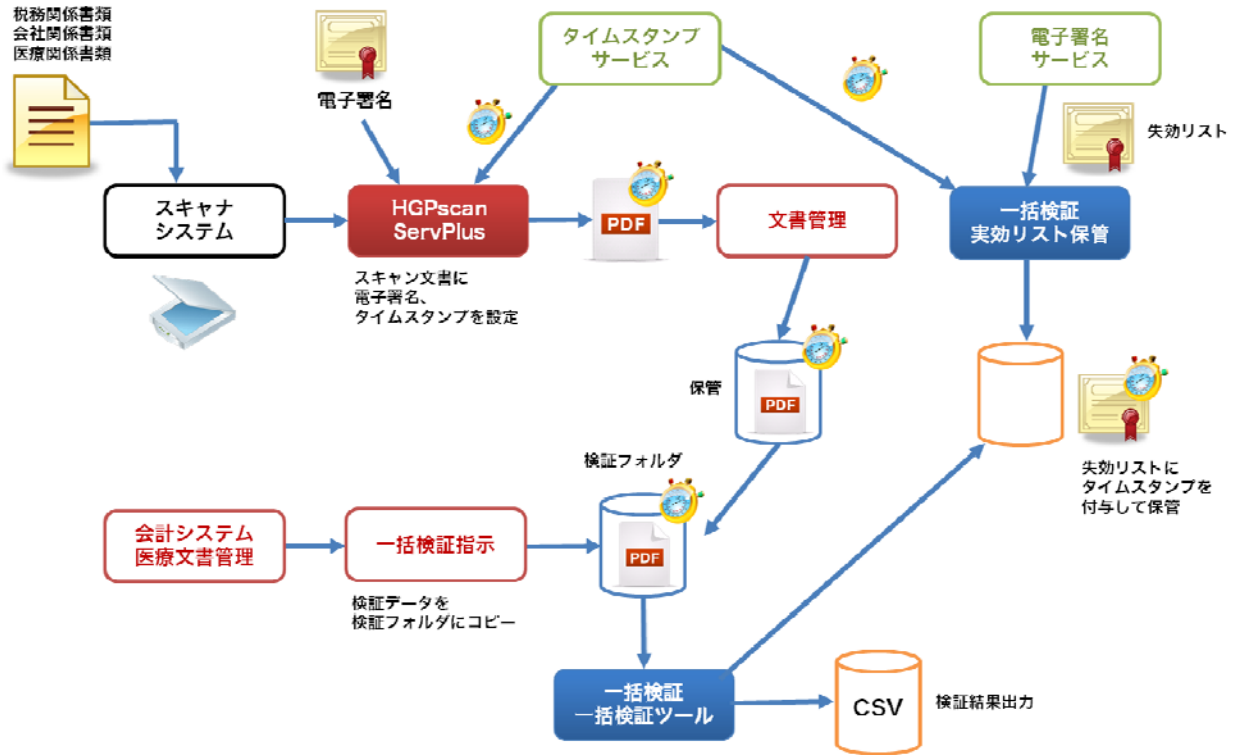
保管する失効リストには、タイムスタンプを付与し、失効リストが改ざんされていないことも保証します。

CSV出力例:

秒仏スクリプト時刻(GMT)	対象検証ファイル名	電子署名検証結果	タイムスタンプ検証結果	署名者名
20060927070632.386Z	C:\PDF\Fa001.pdf	00	00	Tatou.Yamada
20060927070633.462Z	C:\PDF\Fa002.pdf	03	00	Unknown
20060927070635.163Z	C:\PDF\Fa003.pdf	00	01	Hanko.Yamada

検証結果出力例

全体イメージ



ソフトウェア仕様

■動作環境

1. タイムスタンプ付与、電子署名付与

CPU: 2.5GHz デュアル 2 プロセッサ以上
 メモリ: 2GB 以上 ハードディスク: 5GB 以上
 OS: Microsoft Windows Server 2003/2008/2008R2
 * HGPscanServPlus と同等

2. 一括検証

CPU: 2.5GHz デュアル 2 プロセッサ以上
 メモリ: 2GB 以上 ハードディスク: 検証 PDF ファイルの倍
 OS: Microsoft Windows Server 2003/2008/2008R2
 ※以下のモジュールを利用する。
 ・Visual C++ 6.0 Runtime、Visual C++ 7.0 Runtime
 ・Windows CryptoAPI
 ・MSXML (IE5.0 以上)
 ・JRE Sun Microsystems 社 Java 実行環境(JRE) 1.4.1 以上

3. タイムスタンプ

アマノビジネスソリューションズ株式会社
 3161 e-timing EVIDENCE 3161 PDF Lib-W
 3161 e-timing EVIDENCE 3161 TST Lib
 PFU 株式会社
 PFU タイムスタンプサービス

4. 電子署名

証明書ファイル pfx , p12 形式
 windows 証明書ストア

5. 電子署名、タイムスタンプ対象ファイル

画像データ TIFF, JPEG, PDF
 PDF, Office ファイル

6. 一括検証対象ファイル

HGPscanServPlus で電子署名、タイムスタンプを付与した PDF

7. その他必要事項

- 1) インターネット接続が必要です。
- 2) 電子署名契約、タイムスタンプ契約が必要です。
- 3) インストール時、管理者権限が必要です。
- 4) 証明書チェーンを含む検証を行うためには、本ツールにより収集される日付ごとの各データが正しく保存されている必要があります。
- 5) 完全 CRL のみに対応しています。また、認証局の URL は、HTTP のみに対応し、その他のプロトコル(HTTPS/LADP 等)には対応していません。
- 6) プロキシの設定は、Internet Explorer の設定に従います。

8. 文書管理機能(別システム)

- 1) 文書管理機能、一括検証のブラウザ実行機能を実装した、WWDS 証憑管理もごさいます。お問合せ下さい。

■価格

e-文書法対応 一括検証ツール v2 オープン価格

HGPscanServPlus システム連携オプション、失効リスト保存ソフト
 一括検証ツールを含みます。

・Microsoft、Windows Serverは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 ・その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。

開発・販売元

株式会社 ハイパーギア

〒162-0846
 東京都新宿区市谷左内町 21 番地 市谷山上ビル 3F
 TEL 03-5225-7531
 FAX 03-5225-6512

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

お問い合わせは当社へ